

令和8年度 事業計画書



社会福祉法人清章福祉会

令和8年度 事業計画書目次

社会福祉法人清章福祉会	1-11
特別養護老人ホーム清住園	12-13
地域密着型特別養護老人ホーム清住園	14-15
グループホームきよすみの里	16-17
清住園ショートステイサービス	18-19
清住園デイサービスセンター	20-21
清住園第二デイサービスセンター	22-23
エルグラン清住園デイサービスセンター	24-25
居宅介護支援事業所清住園	26-27
姫路市四郷・東地域包括支援センター	28-29

社会福祉法人清章福祉会

社会福祉法人清章福祉会

令和 8 年 4 月 1 日

理念

おもてなしの心で介護
ご利用者の立場で介護
清潔な環境
地域との共生・貢献

運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立
ってサービスの提供に努める。
明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家庭との結び
つきを重視した運営を行う。
他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

中・長期計画

1、中・長期事業計画策定のビジョン

団塊の世代が 75 歳以上となった昨今、後期高齢者の急増とともに支え手である人材の不足、社会保障財源の不足が日本の喫緊の課題となっており、当法人の事業においても多大な影響を及ぼすことが予測される。昨年 10 月に創設 30 周年を迎え、今後も「地域とともにこれからも」をスローガンとして創設の志を受け継ぎ 100 年をめざして継続して地域に貢献していきたいと決意も新たにしているが、清章福祉会が社会福祉法人として福祉事業を継続していくことこそが理念の「地域との共生・貢献」に繋がることであると考えている。そこで、本体の清住園を中心に、エルグランデイサービスセンターと四郷・東地域包括支援センターの 3 拠点が一体となり、お互いが助け合いながら更なる強い組織強化に努め、法人財源の確保に努めることが重要であると考えている。そのため、今後はサービスへの熱意のみならず、財務的基盤についてもより確固たるものになるよう収益確保を目標に掲げていきたい。また、昨年度導入したインカムと眠りスキャンだけでなく介護テクノロジーの導入を積極的に進め、業務の効率化を図り生産性向上を目指していきたい。

2、中期事業計画の期間（2026 年～2029 年まで）

- 長期事業計画の実施は 10 年間とし 3 年ごとに中期事業計画として見直しを行うものとする。ただし、関係法令の改定、介護報酬の改定があった場合はこの限りではない。
- 中・長期事業計画を実現するための具体的な事業計画は 1 年間とし、毎年度作成する。

3、中・長期事業計画の目標

長期目標（2036 年まで）

社会福祉法人として、利用者にとっての価値（利用価値）・社会や地域にとっての価値（社会的価値）・職員からみた価値（所属価値）の 3 つの価値を念頭に、バランス良く運営する。

- 地域で暮らす誰もが「清章福祉社会に相談に行きたい」と思ってもらえる法人となる。
- 地域の高齢者の誰もが「清章福祉社会のサービスを受けたい」と思ってもらえる法人となる。
- 福祉関係者の誰もが「清章福祉社会で働きたい」と憧れをもってもらえる職場にする。

中期目標（2029 年まで）

- 介護テクノロジーの導入を積極的に進め業務の効率化を図り生産性向上を目指す。
- 人材確保および人材の育成のため人事制度の抜本的な見直しを積極的に行い、外国人労働者を含めた有能で熱意のある人材が当法人を目指すような職場環境の整備を行う。
- 各事業所の稼働率を高め事業経営の安定化を図り、法人の自立経営を促進する。

4、中・長期事業計画の内容

目標を達成するための重点項目として下記の 5 つを掲げる。

1) 介護、生活支援サービスの充実

(1) 利用者の主体的な生活の実現

- 介護テクノロジーを積極的に導入し利用者の個別ケアを推進する。
- チームケアを向上させるための取り組みを強化する。
- 法人全体で報告・連絡・相談の徹底を図り顧客満足度を上げる。

(2) 食事サービスの充実

- 利用者に喜ばれる食事サービス（イベント食も含む）を充実させる。
- 季節感溢れる「おやつ／食事レクリエーション」を実施。

(3) サービス内容の標準化

- 各種マニュアルの見直しを 3 年ごとに実施し活用する。
- 各部委員会の活動を活発化し職員の意識を向上させる。

(4) 地域包括ケアシステムの推進

- 四郷・東地域包括支援センターと居宅介護支援事業所清住園が中心となり、在宅サービスを活用して法人全体で地域包括ケアシステムを構築する。
- 在宅部と施設部の連携を強化し、大規模多機能施設として機能させる。

2) 専門性の高いケアの提供

(1) 認知症ケアの充実

- 認知症関連研修を定期的に計画し介護職員のスキルアップを図る。

- 居宅・地域包括を中心に認知症高齢者に対応する相談業務を充実させる。
- (2) 医療ケアの充実
- 医療機関との協力医療体制を強化する。
 - 介護職員による喀痰吸引体制を構築するため資格取得を支援する。
- (3) リハビリテーションの充実
- 機能訓練のシステムを強化するため理学療法士の採用を積極的に模索する。
 - 石川病院からの理学療法士を活用し、施設での定期的な研修を実施する。
- 3) 事業基盤の安定に向けた取り組みの推進
- (1) 各事業の事業目標・指針を明確にし、健全な事業運営の徹底
- 各事業の事業目標・指針を明確にし、理事会・評議員会にて承認を得る。
 - 組織統治（ガバナンス）を確立し、健全な事業運営に努める。
- (2) リスクマネジメント・危機管理体制の強化
- 安全衛生委員会を中心としたリスクマネジメント体制を整備する。
 - 委員会活動を強化し危機管理体制を整備し安全安心の施設運営を目指す。
- 4) 人材確保・人材育成のための環境整備
- (1) 人材確保のための環境整備
- 高賃金体制を整え、職員の収入の安定を図る。
 - 介護テクノロジー導入推進を図り、業務の効率化と労働環境の整備を図る。
 - 働きやすい職場にし、職員のメンタルヘルスケアを充実させる。
- (2) 人材育成のための環境整備
- キャリアパスを含む職員育成制度を確立する。
 - 運営の中核を担う人材及び管理職の育成。
- (3) 外国人労働者・無資格者・高齢者の雇用を促進する。
- 外国人・無資格者が働きやすい環境を整備する。
 - シルバー人材センター等を活用して高齢者雇用を促進する。
- 5) 地域福祉の推進
- (1) 地域の多様な福祉ニーズへの対応
- 個別ニーズに合わせた福祉サービスを法人全体で対応できるようにする。
- (2) 地域公益事業の推進
- 「知事認定地域サポート施設」を継続し地域公益活動事業を積極的に実施する。
 - 地域住民が主体的に取り組む地域における活動を支援する。
- (3) 防災拠点としての機能強化
- 策定した BCP に則り、研修・訓練を実施し、有事に備える。
 - 地域の防災拠点となれるよう食料・防災グッズ等を備蓄する。
 - 福祉避難所がいつでも開設できるように整備する。

令和8年度の事業計画

法人目標

- ① 介護テクノロジーを積極的に導入しご利用者様一人ひとりの個別満足度を上げる。
- ② 有能で熱意のある人材を積極的に育む職場を作る。
- ③ 高い稼働率をキープし事業経営の安定化を図る。

事業目標（財務の視点）

- ① 部署毎に高い稼働率がキープできるよう収支予算を立て計画的に事業を運営する。
- ② 施設ケアを充実させ、入院を減らして空床0を目指す。
- ③ 加算要件を精査し積極的に加算が取れるように努める。
- ④ 利用者ニーズを元に必要なサービスを法人内で提供できるように、部署間横断で協力体制を組み法人全体の収入アップを図る。
- ⑤ 介護テクノロジー導入等業務の効率化を図り、残業を減らして人件費を削減する。

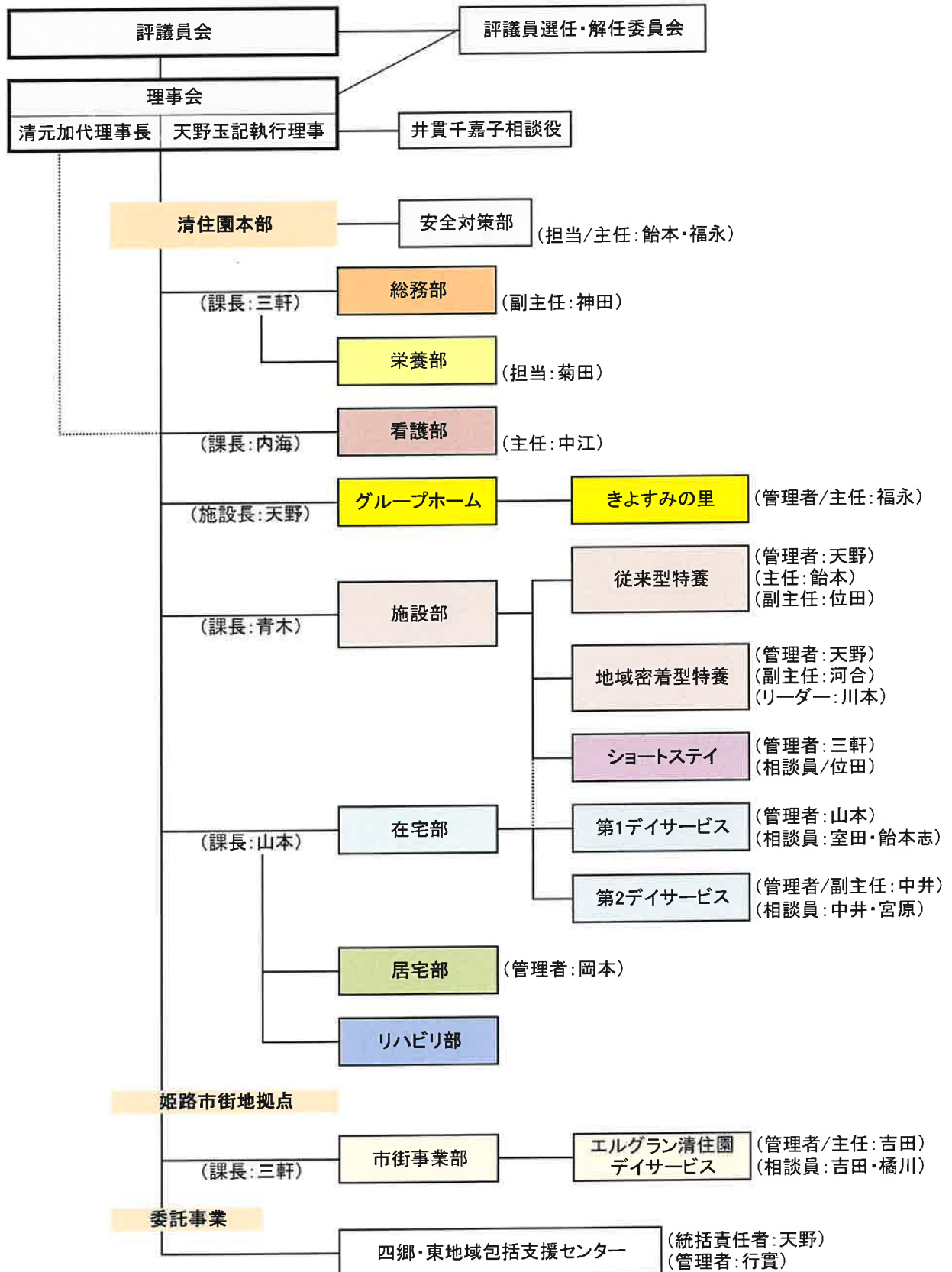
基本方針

- ① 利用者の健康管理や事故防止に努め、安全で安心な生活を提供する。
- ② 地域・利用者ニーズにあったサービスを提供し安定した経営をする。
- ③ 介護テクノロジー導入を進め労働環境を整備し働きやすい職場にする。

令和 8 年度「地域における公益的な取り組み」実施計画

- 1, 地域高齢者への介護予防支援
 - ・「いきいき百歳体操」の会場として多目的ホールを提供
 - ・移動販売車や出張デパートなど、デイサービス中心に買い物支援を充実させる
- 2, 業務継続計画（BCP）に則り、地域住民と発災時の防災訓練を実施する
 - ・地域住民参加の防災訓練を企画
 - 姫路東消防署飾東出張所・地域住民の参加を呼びかけ合同で防災訓練を実施
 - 消防署員による防災研修会を開催
 - 清住自治会役員と清住園防災委員会による発災時の協力体制検討会を開催
 - ・福祉避難所設立準備
 - 備蓄食料の確保
 - 発災時の給食提供方法の確認
 - 発災時の連絡体制の整備
- 3, 地域の人材育成および啓蒙活動
 - ・特定技能外国人労働者の雇用に伴い、清住園寮を中心に地域住民との交流を図る
 - ・高齢者、無資格者の人材の雇入れを積極的に実施
 - ・トライやるウィークの受け入れ
- 4, 地域行事への参加および地域住民との交流
 - ・清住園ふれあい祭りを挙行政（令和 8 年 11 月 8 日）：法人主催
 - 地域自治会と共に地域住民の祭りとして開催
 - みどり保育園・谷内小学校・城山中学校の生徒によるボランティア参加
 - 谷内消防団による駐車場誘導および模擬店運営
 - 地域住民との交流
 - 法人自治会役員を来賓として招待
 - 参加者全員対象の抽選会を開催
 - ・清住ゑびす祭りに協力（令和 9 年 1 月 10 日）：清住自治会主催
 - 祭りの準備等に協力をする
 - ゑびす祭りに参加
 - ・とんど焼きに参加（令和 9 年 1 月 吉日）：清住自治会主催
 - グループホーム・特養入所者およびショートステイ利用者と共に参加
 - ・小学校・中学校の生徒との交流会
 - ・施設内行事の広報および参加を呼び掛ける

清章福社会組織図（2026 年4月1日～）



<会議>

会議名	内 容	頻度	参加者
職員会議	全職員対象研修の実施	月 1 回	全職員
リーダー会議	各部署予定・収支・運営等の議題検討	月 1 回	各部署リーダー
幹部会議	運営に関する議題検討	月 1 回	管理職
従来型 ケアスタッフ会議	情報共有・検討	月 1 回	施設部職員
ユニット ケアスタッフ会議	情報共有・検討	月 1 回	施設部職員
デイ会議	予定・議題検討	月 1 回	在宅部職員
第二デイ会議	予定・議題検討	月 1 回	在宅部職員
エルグランデイ会議	予定・議題検討	月 1 回	エルグラン職員
居宅会議	情報伝達・勉強会	週 1 回	居宅部職員
総務部会議	情報共有・検討・勉強会	月 1 回	総務部職員

<委員会>

委員会名	内 容	頻度
ケア向上委員会	【褥瘡・栄養】職員研修、事例対応策、発生時の現状と処置の周知、カンファレンス、意見集約	月 1 回
	【看取り】職員研修、活動報告、看取り開始時の準備、カンファレンスの実施、意見交換	4 月・7 月 10 月・1 月
	【感染対策】職員研修、感染対策マニュアルの改訂	5 月・8 月 11 月・2 月
	【献立検討】献立検討、食事レク、行事企画、カンファレンス、意見集約	6 月・9 月 12 月・3 月
リスク改善委員会	【事故防止】事故報告書、ヒヤリハットの集計・分析、事例検討、事故発生場所の把握・対応	月 1 回
	【虐待・身体拘束】職員研修、アンケート集計、身体拘束者の記録点検、勉強会	4 月・7 月 10 月・1 月
	【生産性向上】ICT 機器の活用や業務分担の最適化を図り、介護の質の向上と職場環境の改善を推進	5 月・8 月 11 月・2 月
	【防災・BCP】防災機器の点検、避難訓練、緊急連絡網の整備、BCP の策定、訓練、評価	6 月・9 月 12 月・3 月
安全衛生委員会	職員研修、労働環境の整備、安全パトロール、職員健康管理、労働災害防止対策、ヒヤリハットの分析、事例検討、事故発生場所の把握・対応	月 1 回

事故・苦情防止検討委員会（在）	事故報告書、ヒヤリハットの集計・分析、事例検討、事故発生場所の把握・対応	月 1 回
広報・採用委員会	広報ほほえみ作成、ホームページ・無人販売所の管理、合同企業説明会の企画・参加、施設内説明会の企画・参加、学校挨拶まわり、新卒ナビサイト管理、採用ツールの見直し	隔月 1 回 （奇数月）
研修委員会	年間研修計画の立案、職員研修講座の運営・管理、職員会議の研修企画、研修アンケートの集計・分析	月 1 回
事故・苦情対策委員会	事故・苦情内容に関する報告・対策	年 1 回
入所判定委員会	入所の検討・決定	月 1 回

<部会>

部会名	内 容	頻度
レク部会	行事企画・日常の余暇活動の充実	月 1 回
環境部会	整理整頓・清掃等による効率的な備品管理・美化活動の推進	月 1 回
入浴部会	安全な入浴手順・個々の状態に合わせた入浴機会・日々の入浴業務の負担軽減の検討	月 1 回
排泄部会	適切な排泄介助・自立支援に向けた排泄状態の観察とケア改善の検討	月 1 回
食事部会	下膳の工夫や配膳時の声掛け等、現場視点の細かな改善の検討	月 1 回
介護技術向上部会 （研修委員会連携）	現場の介護技術の標準化と専門性の向上	月 1 回

<研修>

研修講座	対象者・内容	頻度
新人研修	新卒採用者・（下半期）中途採用者を対象	4 月
中途採用者研修	（上半期）中途採用者を対象	10 月
8 職種連携	各部署 1 名	年 2 回
社会保険・年金制度	全職員	年 1 回
PC 研修	全職員	年 2 回
レクリエーション研修	全職員	年 1 回
指導育成研修	全職員	年 1 回

人事考課制度	全職員	年1回
モチベーションマネジメント	全職員	年1回
チームビルディング	全職員	年1回
リフレクティングチーム研修	全職員	年1回
メンタルヘルス研修	全職員	年1回
ストレスマネジメント	全職員	年1回
自立支援	在宅／施設職員	年2回
部署体験	介護職員	希望者
手話	介護職員	年1回

総務部

1. 基本方針

法人理念および運営方針に基づき、法令遵守と適正な事務運営を通じて、人材・情報・財務・リスク管理の仕組みを点検・整理し、各拠点・各事業所が安定して力を発揮できる組織基盤の強化を図る。中長期事業計画に基づき、生産性向上・働きやすさ・経営の安定化を総務部の立場から支援し、法人全体の持続可能な運営に貢献する。

2. 令和8年度目標

<部署目標>

- ・法人内の人員・稼働・財務情報を整理し、経営および現場が活用できる形で可視化する
- ・総務業務の手順・役割分担の見直しにより、総務職員の対応力向上を図る
- ・業務見直しを通じて、生産性向上と職員負担軽減を図る

<経営目標>

- ・法人全体の月平均残業時間について、前年同月比で維持または5%以内の減少を目指す
- ・書類管理の見直しを行い、紙管理の削減と業務効率化を段階的に進める
- ・法人全体で適正なコスト管理を行うため、購買・契約に関する基準や手続きを整理し、現場の業務負担軽減と迅速な対応の両立を図る

<人材育成>

- ・総務部会議を人材育成の場と位置づけ、実務課題の検討や勉強会を通じて、職員の業務理解と対応力の向上を図る
- ・参加した外部研修の内容について、総務部会議を通じて年6回以上の共有・報告を行う

<地域福祉活動>

- ・地域の方が施設設備を気軽に活用できるよう、関係部署と連携し、情報発信・調整を行う
- ・防災対策の強化に向け、非常時における福祉避難所としての役割について、地域への周知を継続する

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

栄養部

1. 基本方針

- ・利用者様の日々の食事の様子や身体状況の観察を通して個々の食事内容の検討や継続的な経口摂取により適正体重の維持を目指す。
- ・安心安全な食事作りに努め、利用者様に食事を通して季節を感じていただく。各所からの食事やおやつのイベント企画に合わせた内容を提案し、利用者様に楽しんで召し上がっていただけるよう工夫する。

2. 令和8年度目標

<部署目標>

- ・多機種連携により利用者様の個々の栄養管理の充実を図る。
- ・季節の食事及びおやつの提供を定期的実施し、利用者様に食べる喜びを感じていただく。
- ・HACCPに基づく厨房の衛生管理に努め、安全な食事提供を目指す。
- ・BCP委員会にて非常時の食事提供について検討し、防災訓練と合わせて容易で安全な非常食の提供を目指す。

<経営目標>

- ・日々のミールラウンドの中で利用者様の様子観察、身体状況及び栄養状態を観察し、多職種と共に多方面から検討し、低栄養の予防及び改善を図る。
- ・急な退院者及び短期入所者の受け入れを迅速に行い、稼働率の上昇に努める。
- ・厨房スタッフのスキルに合わせた作業の見直しを行い、職員の定着率の向上を目指す。
- ・デイサービス及びエルグランデイサービスの食事及びおやつイベント実施にて集客率を上げる。

<人材育成>

- ・利用者様が安全に無理なく食事が召し上がれるような介護食の盛付け方法を工夫し、より良い提供方法を話し合い、継承していく。
- ・新しい厨房スタッフの雇用の継続を目指し、受け入れ環境等の整備に努める。

<地域福祉活動>

- ・引き続き、地元清住の米を使用していく。

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

グリストラップ清掃	年2回	90,000 円
アース消毒	年2回（害虫発生状況に合わせて依頼）	6,600 円
やかん(8リットル)	10,000 円×2 個	20,000 円
デザート皿	790 円×150 個	118,500 円
箸	200 円×280 膳	56,000 円
赤スプーン(小)	200 円×100 本	20,000 円
おやつ用小皿(不足分)	570 円×20 個	11,400 円

特別養護老人ホーム清住園

1. 運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 令和8年度目標

<部署目標>

○施設

- ・利用者の想いに添った介護を目指し、業務改善を推し進める。
- ・介護テクノロジーを有効活用し生産性の向上を図る。
- ・働きやすく風通しのよい職場作りを目指す。

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る。
- ・協力病院との連携を強化し、利用者の状態変化に応じた迅速な対応を図る。
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす。(看取りの充実)
- ・協力病院と連携して感染対策を徹底し、あらゆる感染症から利用者を守る。

<経営目標>

- ・安定的な介護報酬の確保に向けて、減収の原因となる入院者を減らすために、多職種協働で日常の健康管理を徹底する。
- ・入院が短期間となるように協力病院と連携し、年間平均稼働率 95.5%を目指す。
- ・業務の効率化を図り残業を減らす。

<人材育成>

- ・年間を通じて計画的に施設内研修や外部研修に積極的に参加し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・感染症予防を徹底し、ボランティア及び実習生等の受入れを行う。
- ・地域の方々や家族などに対して園内行事への参加を呼びかけ、施設を開放し地域との連携を深める。

3. 年間行事・行事食予定 ※新型コロナウイルス等感染症予防の為変更の可能性あり

月	年 間 行 事
4 月	花見
5 月	父母の会 家族会総会
6 月	外出（喫茶）
7 月	七夕
8 月	夏祭り
9 月	敬老会
10 月	外出（コスモス鑑賞）
11 月	ふれあい祭
12 月	クリスマス会
1 月	おせち 正月行事
2 月	節分（豆まき）
3 月	外出（喫茶）
備考	【毎月】 誕生日会 書道クラブ 【不定期】 ボランティア行事 買い物ツアー 園芸クラブ

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

ピュアット(リース)	22,100 円/月（税抜）
浴室改修工事	1,000,000 円

地域密着型 特別養護老人ホーム清住園

1. 運営方針

利用者の一人一人の生活習慣や好みを尊重し、利用者の生活に沿ったケアの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 令和8年度目標

<部署目標>

○施設

- ・利用者の想いに添った介護を目指し、業務改善を推し進める。
- ・介護テクノロジーを有効活用し生産性の向上を図る。
- ・働きやすく風通しのよい職場作りを目指す。

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る。
- ・協力病院との連携を強化し、利用者の状態変化に応じた迅速な対応を図る。
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす。(看取りの充実)
- ・協力病院と連携して感染対策を徹底し、あらゆる感染症から利用者を守る。

<経営目標>

- ・安定的な介護報酬の確保に向けて、減収の原因となる入院者を減らすために、多職種協働で日常の健康管理を徹底する。
- ・入院が短期間となるように努めることにより、年間平均稼働率 97%を目指す。
- ・業務の効率化を図り残業を減らす。

<人材育成>

- ・年間を通じて計画的に施設内研修や外部研修に積極的に参加し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・感染症予防を徹底し、ボランティア及び実習生等の受入れを積極的に行う。
- ・地域の方々や家族などに対して園内行事への参加を呼びかけ、施設を開放し地域との連携を深める。

3. 年間行事・行事食予定 ※新型コロナウイルス等感染症予防の為変更の可能性あり

月	年 間 行 事
4 月	花見
5 月	父母の会 家族会総会
6 月	外出
7 月	七夕
8 月	夏祭り
9 月	敬老会
10 月	外出（各地域秋祭り コスモス）
11 月	ふれあい祭
12 月	クリスマス会 忘年会
1 月	正月行事
2 月	節分(豆まき)
3 月	外出
備考	【毎月】 誕生日会 【不定期】 ボランティア行事 外出（喫茶 買い物）

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

グループホーム きよすみの里

1. 運営方針

認知症により自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な環境のもとで、心身の特性を踏まえ、認知症状の緩和や悪化の予防を図り、尊厳ある自立した日常生活を営むことが出来る環境を整え、ご本人の意思や希望を受け止め、ご本人の状態に合わせた入浴、排泄、食事等の日常生活場面での支援やその他必要な援助を行う。

2. 令和8年度目標

<部署目標>

- ・認知症利用者の想いに添った介護を目指し、業務を行う。
- ・地域との共生・共存が出来るように地域交流を図る。
- ・利用者から「ありがとう」を引き出せる介護を目指す。
- ・働きやすく風通しのよい職場作りを目指す。

<経営目標>

- ・安定的な介護報酬の確保に向けて、職員の育成・業務システムの構築に努める。
- ・退所後の入所がスムーズに行えるように努め、年間平均稼働率 97%を目指す。
- ・業務の効率化を図り残業を減らす。

<人材育成>

- ・年間を通じて計画的に施設内研修や外部研修に積極的に参加し、職員個々の認知症介護の知識向上を図る。
- ・職員が自発的に意見を言える環境を整え、意欲的に仕事出来る職場作りを行う。

<地域福祉活動>

- ・地域の行事やボランティア活動に積極的に参加し、地域の方に受け入れて頂けるよう努力する。
- ・地域の方や家族などに対して園内行事への参加を呼びかけ、施設を開放し、地域との連携を深める。
- ・地域の方が認知症への理解を深めていただけるように地域との交流を図る。
(新型コロナウイルス等感染症の状況を考慮して実施)

3. 年間行事・行事食予定 ※新型コロナウイルス等感染症予防の為変更の可能性あり

開催月	年 間 行 事	内 容
4 月	・鑑賞ドライブ	・車で桜や季節の花（菜の花、芝桜、ネモフィラ等）を見に行く
5 月	・花と野菜の植え付け	・市販の苗でプランターや花壇、畑に植え付けをする
6 月	・あじさい鑑賞会 ・さつまいも植え ・イチゴの収穫会	・清住園のシンボルあじさいの鑑賞とクラフト ・さつまいもの植え付けを行う ・プランターに植えたイチゴを収穫する
7 月	・七夕飾り、納涼会 ・夏野菜試食会 ・花火大会	・七夕の笹飾りや風鈴等を作成し、お茶会 ・栽培した野菜を使った調理と試食、サラダバー風 ・夜間、利用者と手持ち花火をして交流
8 月	・ドライフラワー制作 ・夏祭り ・秋野菜の栽培開始	・栽培した花をドライフラワーにして、その後利用 ・屋台やゲームの出し物を用意、お祭り気分を味わう ・花や野菜の種まき
9 月	・秋じゃがいも植え ・敬老会 ・秋の収穫祭	・じゃがいもを植え、収穫後に調理 ・敬老の日に、施設内や地域の方と交流 ・収穫した野菜を使った、天ぷらパーティー
10 月	・さつまいも掘り大会 ・ハロウィン祭り	・畑のさつまいもを収穫する ・収穫したかぼちゃを使ったクラフト。仮装大会
11 月	・ハーブティー交流会 ・ふれあい祭り ・冬の鍋パーティー	・ハーブティー作りと茶話会 ・地域との交流 ・収穫した冬野菜を使って、鍋料理を囲む
12 月	・クリスマス寄せ植え ・クリスマス会 ・しめ縄・正月準備	・リース型プランターに、花や葉ボタンを寄せ植え ・クリスマスケーキを作り、クリスマスパーティー ・稲わらでクラフトや正月飾りを作成
1 月	・おせち、正月行事 ・果樹の準備会	・お正月にちなんだレクや食べ物を楽しむ、書き初め ・プランターを中心に、果樹の剪定と栽培準備
2 月	・節分豆まき ・バレンタイン交流会 ・じゃがいも調理会	・鬼に扮する等して、豆まき大会を楽しんで頂く ・チョコレート作りやお茶会 ・じゃがいも餅を一緒に作り、皆さんで試食
3 月	・イチゴ植え ・春の種まき ・年度ふり返り交流会	・プランターにイチゴの植え付け ・パンジー等、花や野菜の種まき ・年度終わり、活動や生活のスライドショーを行う
備考	ボランティア・買い物ツアー（不定期） 誕生日会（毎月） 園芸クラブ・書道クラブ（定期）	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

清住園ショートステイサービス

1. 運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 令和8年度目標

<部署目標>

○施設

- ・利用者の想いに添った介護を目指し、業務改善を推し進める。
- ・新規事業と既存事業の安定化を図る為、人材育成を推し進める。
- ・働きやすく風通しのよい職場作りを目指す。

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る。
- ・他部署・提携病院との連携を図る。
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす。(看取りの充実)
- ・新型コロナウイルス等の感染症対策を実施し集団感染を未然に防ぐ。

<経営目標>

- ・SNSを活用した新規利用者の確保と、年間平均稼働率94%の維持向上を目指す。
- ・新規利用者の受け入れ体制の構築と各部署信頼関係の再構築。
- ・デイサービスからの移行者に合わせたレクリエーション活動の充実。
- ・胃瘻造設者等の重度利用者の受入れを行い稼働率の向上を図る。

<人材育成>

- ・相談員育成の為、チューター制度を活用することでスキルアップを目指す。
- ・年間を通じて計画的に内部研修や外部研修を継続して実施し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る。
- ・職員間・部署間の活発な意見交換を可能にするコミュニケーションの場の提供。

<地域福祉活動>

- ・地域行事に参加し、相談しやすい環境を整える。

3. 年間行事・行事食予定 ※新型コロナウイルス等感染症予防の為変更の可能性あり

月	年 間 行 事
4 月	花見
5 月	父母の会 家族会総会
6 月	外出（喫茶）
7 月	そうめん流し
8 月	夏祭り
9 月	敬老会
10 月	外出（コスモス鑑賞）
11 月	ふれあい祭
12 月	クリスマス会
1 月	おせち 正月行事 正月レクリエーション
2 月	節分（豆まき）
3 月	外出（喫茶）
備考	【毎月】 誕生日会 書道クラブ 音楽クラブ 園芸クラブ おやつレク 【不定期】 ボランティア行事 買い物ツアー 外食ツアー 美容レク

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

従来型に準ずる

清住園デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅の虚弱高齢者、要介護高齢者、認知症高齢者に対して通所により、入浴・食事の各種サービスを提供し、高齢者の自立的な生活に対する援助、社会的孤立感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に、家族の方の精神的・身体的負担の軽減を図る。

2. 令和8年度目標

<部署目標>

- ・居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携を図り、現行サービスを推進しつつ介護予防を取り組んだ質の高いサービスを提供していくよう努める。
- ・外部の移動販売事業等を誘致し、積極的な社会的活動を行い生活機能の向上を図る。
- ・認知症ケアサービスを推進し、内外に周知する。また、特色ある季節に応じたイベント企画を行う。

<経営目標>

- ・営業活動を積極的に行い新規利用者の獲得を図りつつ、第二デイサービスセンター・エルグランデイサービスセンター・ショートステイサービスへの移行にも柔軟に対応しながら売上の向上に繋げる。
- ・利用者及び利用者家族に積極的な利用をして頂けるように、報告・連絡・相談を密に取り信頼関係を構築する。受入れ体制を円滑に行えるよう各部署との連携を図る。
- ・個別機能訓練・運動器機能向上の充足を図り、心身共に充実できるサービスを提供することで、利用者満足度と介護予防の両立に努める。

・運営日数

区分		予定日数	運営曜日	運営時間
基本事業		259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～15:00
予防通所介護事業	入浴	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	運動器機能向上	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
通所介護事業	入浴	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
	個別機能訓練	259	月～金(除:土日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00

運営規模：通常規模型（月延べ人数が 301 人～750 人以内）

利用者定員：40 名

○稼働率

- ・1 日平均 28 名以上 月平均稼働率 68%

○営業活動

- ・月初めに関係居宅事業所へ実績を持参し訪問を行い、利用者空白・少数地域(加西市、神吉町、志方町等を重点に置く)の居宅事業所への営業訪問活動を行う。
- ・毎月初めに、翌月のカレンダーに「空き情報」を掲載したチラシを地域の居宅事業所、地域包括へFAX送信を行う。

<人材育成>

○相談員

- ・年間を通じて計画的に研修に参加し、同じ部署の相談員へ積極的に振り返り報告を行い、相談援助技術・知識の向上を図る。

○看護・介護職員

- ・年間を通じて計画的に内部研修を行い、感染症対策、専門的技術・知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生の受け入れを積極的に行う。
- ・谷内小学校交流学級との定期的な交流会を行う。
- ・地域住民との交流を図る為、移動販売などを企画し、施設の開放を行う。

3. 年間行事・活動予定 ※新型コロナウイルス等感染症予防の為変更の可能性あり

月	年 間 行 事	行事食
4 月	花見会 花見喫茶 花見ドライブ	花見弁当
5 月	新緑ドライブ	行楽弁当
6 月	あじさい鑑賞ドライブ トライやるウィーク	おはぎ
7 月	七夕まつり	
8 月	夏祭り ぶどう買い物ツアー (お盆)	
9 月	敬老会	祝い膳、おはぎ
10 月	コスモス鑑賞ドライブ 芋掘り	行楽弁当
11 月	紅葉ドライブ 干し柿	干し柿
12 月	クリスマス会 年忘れビンゴゲーム	クリスマスケーキ
1 月	初詣、正月レク	白玉ぜんざい
2 月	節分レク 梅見ドライブ	バレンタイン
3 月	雛祭り	おはぎ
備考	【定期】 移動スーパーマルシェ、移動パン販売まほろば、菜の花 (クッキー、雑貨) 【随時】 衣料販売シゲノブ、絵手紙教室、地域ボランティア	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

清住園第二デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅虚弱高齢者、要介護高齢者、認知症高齢者に対して通所により、入浴・食事の各種サービスを提供し、高齢者の自立的な生活に対する援助、社会的孤立感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に、家族の方の精神的・身体的負担の軽減を図る。

2. 令和8年度目標

<部署目標>

- ・利用者の重度化に対応する為に、介護力の向上を図り質の高い介護サービスが提供できるよう努め、安定した利用者数及び稼働率での営業を行っていく。
- ・リハビリ部と協同連携し、個別機能訓練加算を活用しながら日常動作訓練での上下肢筋力の維持・向上や手先の巧緻性訓練を行い、在宅での生活機能の維持向上を図る。

<経営目標>

- ・利用者及び利用者家族に積極的な利用をして頂けるように、報告・連絡・相談を密に取り信頼関係を築き、各種プログラム作りや個別機能訓練の実施と受入れ体制を円滑に執り行えるよう各部署との連携を図る。
- ・各種行事予定の企画、利用者への呼びかけを随時行い、追加利用をお勧めする。
- ・第一デイからの積極的な利用者移行、ショートステイサービスとの併用利用、サ高住などの特定入所者施設の利用者の受入れを行う。
- ・重度利用者、医療看護が必要な利用者(在宅酸素、ストマ、胃瘻等…)を可能な限り受入れ、介護職・看護職が連携して適切な対応が行えるような組織作りを行う。
- ・運営日数

区分		予定日数	運営曜日	運営時間
基本事業		310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～17:00
予防通所介護事業	入浴	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	運動器機能向上	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～16:00
	給食	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
通所介護事業	入浴	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
	個別機能訓練	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～16:00

運営規模：大規模型（Ⅰ）（月延べ人数が751～900人以内）

利用者定員：40名

○稼働率

- ・1日平均33名以上 月平均稼働率 85%

○営業活動

- ・月初めに関係居宅事業所へ実績を持参し訪問を行い、利用者空白・少数地域(加西市、神吉町、志方町等を重点に置く)の居宅事業所への営業訪問活動を行う。
- ・毎月初めに、翌月のカレンダーを盛り込んだ「空き情報」のチラシを地域の居宅事業所、地域包括へFAX送信を行う。

<人材育成>

○相談員

- ・年間を通じて計画的に外部研修へ参加し、同じ部署の相談員へも積極的に振り返り報告を行い、相談援助技術・知識の向上を図る。

○看護・介護職員

- ・年間を通じて計画的に内部研修を行い、感染症対策、専門的技術・知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生の受け入れを積極的に行う。

3. 年間行事・活動予定

※新型コロナウイルス等感染症予防の為変更の可能性あり

月	年 間 行 事	行事食
4 月	花見会 花見ドライブ	花見弁当
5 月	新緑散策	行楽弁当
6 月	紫陽花鑑賞	おはぎ
7 月	七夕まつり	うなぎ(土用の丑)
8 月	夏祭り	夏祭りメニュー
9 月	敬老会	敬老祝い膳、おはぎ
10 月	コスモス散策	スイートポテト(さつま芋)
11 月	紅葉ドライブ	行楽弁当
12 月	クリスマス会	クリスマスケーキ
1 月	正月レク 十日ゑびす	白玉ぜんざい
2 月	節分レク	恵方巻き、バレンタイン
3 月	ひな祭り	おはぎ
備考	【毎月】おやつレク、創作レク、絵手紙教室、もの作り教室 【随時】個別クラブ…カラオケ、クラフト、書道・写経、水彩画、囲碁、将棋、オセロ等 地域ボランティア	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

エルグラン清住園デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種サービスを提供し、老人の自立的な生活に対する援助、社会的孤独感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 令和8年度目標

<部署目標>

- ・新規利用者の獲得に向けて営業活動の継続、稼働率70%目標に取り組む。
- ・新しい業務、サービスを取り込み実践し、SNS等で発信していく。
- ・個々の利用者様の症状や環境に応じた機能訓練や好まれる活動を通して、心身の機能維持及び日常生活動作能力の維持向上を目指す。

<経営目標>

- ・運営日数

区分		予定日数	運営曜日	運営時間
基本事業		310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～17:00
予防通所 介護事業	入浴	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～12:00
	給食	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
通所介護 事業	入浴	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～12:00
	給食	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
	個別機能訓練	310	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～16:00

運営規模：通常規模型（月延べ人数が301人～750人以内）

利用定員：30名

○稼働率

- ・1日平均 21名以上 月平均稼働率 70%

○営業活動

- ・利用者の近況状態や施設の取り組みなどを知ってもらうための訪問活動を定期的に行う。
- ・紹介・見学・初回利用時などには担当ケアマネと密に連絡を取り、信頼関係の構築に努める。

<人材育成>

○看護・OT・介護職員

- ・内部研修を計画的に行い、「人が人を支援する」とはどういうことなのかを考えられる職員の育成を行う。
- ・感染症対策や防災対策など、非常時でも慌てず対応できる職員の育成を図る。

<地域福祉活動>

- ・感染防止対策に努めながら、ボランティアの受け入れや訪問販売業者などの社会資源の選定や活用を行う。
- ・街の福祉相談拠点となれるよう地域の会合に積極的に参加し、地域との結びつきを強化する。

3. 年間行事・活動予定 ※新型コロナウイルス等感染症予防の為変更の可能性あり

月	年間行事	行事食
4月	花見 喫茶ツアー	花見弁当
5月	新緑散策	駄菓子パーティ
6月	ゆかた祭り	お好み焼き（ナリコマ）
7月	七夕 季節飾り作成	おやつイベント
8月	夏祭り	おやつイベント
9月	敬老会	天ぷら定食（ナリコマ）
10月	ハロウィンパーティー	行楽弁当
11月	ケーキイベント 喫茶ツアー	握り寿司（ナリコマ）
12月	クリスマス会	ケーキづくり
1月	初詣	ハツ橋作り
2月	梅の花鑑賞 節分豆まき	バレンタインチョコ
3月	ひな祭り 喫茶ツアー	握り寿司（ナリコマ）
備考	毎月の誕生日会の実施 訪問美容は1カ月に1回程度実施予定 機能訓練を兼ねた外出は毎月適宜行う お楽しみ会・イベント行事も適宜実施予定 ナリコマ行事食（年4回程度）	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

70 インチテレビ	109,800 円
壁掛け金具	13,800 円

居宅介護支援事業所清住園

1. 運営方針

利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、介護保険法その他関係法令に基づき、関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、利用者の要介護状態や悪化防止のため、総合的な支援の提供に努める。

2. 令和8年度目標

<部署目標>

- ・施設内外の研修等に参加してケアマネジメント力を向上させる。
- ・稼働率を向上させ、法人内事業所への紹介数を増やしていく。
- ・サテライトを有効活用し、市街地の利用者獲得と法人の売上増を目指す。

<経営目標>

○運営日数

営業日：292日 月～土曜日(国民の祝日、12月29日～1月3日は除く)

○稼働率

- ・当事業所は介護支援専門員5名体制で運営する。
 - 1人あたりの担当上限は、介護給付40件、予防給付12件とする。
 - 担当可能件数(上限)：要介護200件(40件×5名)・要支援60件(12件×5名)
 - 目標件数：要介護132件・要支援50件
 - 目標稼働率：介護給付66%、予防給付82%

<人材育成>

- ・分からないことや困っていることがあればすぐに相談しあえる事業所を目指す。
- ・多種多様なケースにも対応できるように研修や勉強会に参加していく。

<資質向上>

- ・適切なケアマネジメント手法を学び、根拠のあるサービス提供が行える。
- ・事例検討会の参加や部署内での発表を行い、各自の振り返りや気づきを得る事で質の向上を目指していく。

<地域福祉活動>

- ・地域包括支援センター、地域関係者からの困難事例も積極的に受け入れる。
- ・地域包括支援センター主催の研修会に参加して、内容を会議でフィードバックする。

3. 年間研修計画

月	計画
4 月	第 1 回中央ブロックケアプラン研修会
5 月	第 1 回東ブロックケアプラン研修会
6 月	第 1 回飾磨ブロックケアプラン研修会
7 月	第 2 回中央ブロックケアプラン研修会
8 月	第 2 回飾磨ブロックケアプラン研修会
9 月	第 2 回東ブロックケアプラン研修会
10 月	第 3 回飾磨ブロックケアプラン研修会第
11 月	第 3 回中央ブロックケアプラン研修会
12 月	第 3 回東ブロックケアプラン研修会
1 月	第 4 回飾磨ブロックケアプラン研修会
2 月	第 4 回中央・東ブロックケアプラン研修会
3 月	他事業所との合同事例検討会
備考	ケアマネジメント力向上会議 その他各種研修に参加予定

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

姫路市四郷・東地域包括支援センター

1. 基本方針

総合相談・支援や権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、認知症高齢者への対応、介護予防事業や地域・関係機関との連携・ネットワークづくりを行い、介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から高齢者に対する支援を一体的に行う。

姫路市から委託された公益事業であることを踏まえて行動する。

2. 令和8年度目標

<部署目標>

- ・センター内の連携・協働を一層推し進めながら、センター業務を「チーム」として支えていく。
- ・総合相談のワンストップ窓口に努め、資源の統合を図りながら「個に応じた」多様な活用ができるよう対応する。
- ・「地域包括ケアシステム」の構築に努め、地域と共に地域課題の解決に積極的に取り組む。

<経営目標>

- ・予防ケアプランをできるだけ自前で担当し、稼働率向上に努める。
- ・計画的な運営を行い地域包括支援センターとしての経営自立を目指す。

<人材育成>

- ・外部研修に積極的に参加し、関連した技術や制度についての正確な情報を学び、事業所内で共有する。
- ・センター内の勉強会や本体での年間研修計画に基づき、相談業務のスキルアップおよび地域への啓発活動等を効率的にできるよう、技術の向上を図る。
- ・カンファレンスで各々の専門知識に基づく意見を出し合い、ケース検討を重ねることで具体的な困難事例への対応スキルを学ぶ。

<地域福祉活動>

- ・地域の保健・医療・福祉サービスやボランティア活動などの社会資源を十分活用できるよう継続的な支援をし、体制を整えていく。
- ・総合相談支援業務・権利擁護業務・包括的継続的ケアマネジメント支援業務など、姫路市から委託された地域包括支援センター業務を着実に遂行できるように努める。

- ・介護予防および健康の維持・増進に向けて取り組み、地域で認知症の理解を深めるために住民への啓発活動を行い、高齢者にやさしい地域づくりを進めていく。
- ・認知症の程度に応じた医療や介護の情報提供を行い、介護者への支援を行う。
- ・多様な活動の場を支援し、地域住民との連携を定着させる。

3. 年間活動計画

月	計 画
4 月	各機関・新役員への挨拶 介護予防教室の計画 小中学校への挨拶 自治会・民生委員への挨拶 機関紙発行
5 月	認知症予防教室開催 圏域連絡会議 「介護者の集い」開催
6 月	医療機関への挨拶 地域支援体制検討会議 東ブロック研修
7 月	認知症サポーター養成講座 機関紙発行
8 月	圏域連絡会議 事業所挨拶
9 月	東ブロック研修 金融機関・事業所挨拶 R8 年度上半期の評価
10 月	地域相談会（金融機関等） 機関紙発行 「介護者の集い」開催
11 月	地域支援体制検討会議 東ブロック研修
12 月	介護予防教室 事業所挨拶
1 月	各機関新年挨拶 新年度活動計画立案 機関紙発行
2 月	東ブロック研修 R8 年度評価 圏域連絡会議
3 月	役員交代等の情報収集等 地域支援体制検討会議
備考	随時、いきいき百歳体操立ち上げ支援 認知症サポーター養成講座等 年間を通して地域活動への参加

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし